2022年度水俣フォーラム 事業報告

2022 年度はコロナ禍が継続する状況でありながらも、コロナ明けを見越して活動を進める年となった。水俣病記念講演会は開催 1 ヶ月半前時点で会場使用許可が得られなかったため中止したものの、2023 年度の同会場・同企画での開催に向け準備を行った。水俣･福岡展は、コロナの状況を見計らいながら 2023 年 4 月からサポーター会議を行うべく、予告チラシを作成しサポーター募集や協賛依頼を始めた。水俣セミナーはオンラインの録画配信視聴者を含めると、これまでの平均参加者 50 人を大きく上回る 120 人強となり、はっきりと手ごたえを感じることが出来た。会員からのニーズが高いNEWSは当初の計画通り 1 回発行し、Twitter と facebook による催し案内の発信も昨年度から継続して行っている。インターネット上での「水俣コラム」は 3 月から、多様な執筆陣による月 2 回の発信を開始し、これまで接点が少なかった層に対し、ネット上で水俣に接する場をつくるべく定期更新を厳守していく所存である。運営面では、物的寄付の寄付者が所得税非課税制度を利用できるよう定款を変更したことをはじめ、常勤職員の退職金積立を開始するなど課題の解消に着手した。展示物のリニューアル、水俣展全図録、水俣･福岡展、近畿で初となる水俣病記念講演会などは、多くの人と水俣を結ぶツールや場として大きな可能性を秘めており、これまでの準備を結実させるべく来年度の活動に臨みたい。

１. 水俣病公式確認６０年記念事業

①展示物のリニューアルと新規制作の準備

②水俣展全図録の編集の準備

２. 水俣展

①福岡展（2023 年 10 ～ 11 月）の開催準備

②京都展　2024 年か 25 年の会場を調査・絞り込み

③東京展　2026 年の会場候補 7 施設を調査

３. 講演会開催（いずれもオンラインを併用）

①記念講演会　第 19 回の開催準備 (2023 年 4 月､京都･立命館大学朱雀キャンパス､469 席)

②水俣セミナー　7 回開催、5 ～ 7・9 ～ 12 月、845 人（うち来場 281 人)、新宿･常円寺

４. 機関誌発行

①水俣フォーラムNEWS　1 回発行、3 月　2900 部

５. インターネットによる発信

①各種 SNS での定期発信（催し案内の発信継続、「水俣コラム」の開始）

②海外向け多言語発信準備　言語の調査・検討

③ホームページの刷新　「水俣コラム」をトップに配置。リニューアル準備

６. その他の事業

①水俣病ライブラリーの整理　複数冊所蔵書籍の整理

７. 水俣病関連書籍の出版編集協力

①石牟礼道子エッセー集　文庫企画として決定

８. 総会・理事会・運営委員会

①総会　6 月、出席者 25 名、表決委任者 408 名（正会員 924 名）

②理事会・運営委員会　合同運営委員会 7 回、出席率 84.3 ％

９. 事務所機能向上のための取り組み･運営基盤整備

①事務所の書棚とファイル棚の一部を整備

②旧展示物を含む倉庫の整理と各種制作物・資料の廃棄　11 月に実施

③退職金積み立てを開始（4 月、中小企業退職金共済制度に加入）

④譲渡所得等の非課税の承認を受けるための要件を整備（定款の変更を含む）

１０. 助成、補助金等

［22年度についての確定分］

①環境再生保全機構地球環境基金助成金、500 万、3 年計画の 2 年目
「オンラインと対面型の併用による水俣病の普及啓発と人材育成」

②経済産業省事業復活支援金　100 万

［申請したものの選に漏れたもの］

①新宿区協働推進基金助成金　50 万（上限）

② SDGs 岩佐賞　300 万～ 1000 万

［23年度についての申請］

①環境再生保全機構地球環境基金助成金、600 万（上限）申請、3 年計画の 3 年目
「オンラインと対面型の併用による水俣病の普及啓発と人材育成」500 万内定

理事	実川悠太	常勤	68 歳	西東京市	理事長
	関口 清	川崎市職員	68 歳	横浜市	副理事長
	東郷佳朗	神奈川大学准教授（法社会学）	55 歳	横浜市	副理事長
	郡山リエ	元･福祉施設職員	74 歳	厚木市	
	秋元孝行	江戸川区体育会事務局長	70 歳	大田区	
	瀬戸口裕子	都立王子総合高校教員	48 歳	練馬区	
	渡辺純規	事務局非常勤、元･都立高校教員	67 歳	川崎市	
	服部直明	常勤	56 歳	川崎市	事務局長
	（なお、理事は運営委員を兼務することとする）				
運営委員	石井由樹子	森のようちえん葉山「もりのわ」代表	49 歳	横須賀市	
	金尾敏恵	NPO 法人 VIVID 事務局長	59 歳	西東京市	
	市橋久美子	企業年金基金職員	58 歳	さいたま市	
	宮崎洋介	化学会社研究員	50 歳	市原市	
	豊野堯	月刊バレーボール編集長	46 歳	荒川区	
	木全由規	留学コーディネーター	52 歳	八王子市	
	大八木勉	事務局非常勤、日本映画大学職員	46 歳	世田谷区	
	宇田川弓	常勤	45 歳	品川区	
	梁取優太	常勤	28 歳	さいたま市	